

いもうと
妹



ゆうしゅうしょう
優秀賞

(8年)

わたし ふたり いもうと じじょ しょうがく ねんせい さんじょ しょうがく ねんせい
私には二人の妹がいます。次女は小学6年生で、三女は小学3年生です。

わたし いもうと き しつもん なんねんせい
私は「妹がいる」というと、よく聞かれる質問があります。「何年生？」や
なんくみ しつもん わたし しつもん ひとり おおうちしょう
「何組？」という質問です。私はこの質問に「一人は大内小なんだけど、も
ひとり ちが がっこう たぶん こた
う一人は違う学校だから多分わかんないよ。」と答えます。

じじょ しょう しゃ さんじょ けんじょうしゃ じじょ じへいしょう しょう
次女は障がい者、三女は健全者です。次女は自閉症などがあります。障が
いにも重さがあるのですが、妹は重度と中度を行き来している感じです。重度
おち
や中度と言っても、普通に生活しているし、学校にも通っています。

いもうと かよ がっこう しえんがっこう かがわけん しょう ひと かよ
妹が通う学校は支援学校といって、香川県の障がいのある人たちが通う
がっこう こうこうせい かよ わたし いもうと がっこう じゅぎょうさんかん い
学校で、高校生まで通うことができます。私は、妹の学校へ授業参観に行
ふんかさい い なかよ たが たす
ったり、文化祭に行ったりしたことがあります。みんな仲良く、お互いに助け
あ じゅぎょう う いろいろ こせい ひと
合いながら授業を受けていました。色々な個性のある人たちがいて、「こんな
がっこう かよ たの など おち
学校に通ったら楽しいだろうな。」と、何度も思ったことがあります。

たまに いえ せいかつ たいへん なに いろいろ
たまに「家での生活とか大変じゃない？何か色々やらないといけないんでし
ょ？」と聞かれます。家では、もしかしたら少し違うことをしているのかもし
き いえ すこ ちが
れないけど、それは私からしたら「普通」のことであって、「妹のために」
わたし
などとは思っていません。

わたし いもうと からだ うご す まいにちへやじゅう はし まわ す
私の妹は体を動かすことが好きで、毎日部屋中を走り回っています。好
きなアイドルもいるし、嫌いな食べ物もあります。「障がい者」ということ以外
きら た もの しょう しゃ いがい
は、ほとんど私たちと同じだと私は思っています。

わたし そと いもうと あそ い ちい こ ゆび こなに
私は外に妹と遊びに行ったりすると、小さい子が指さして「あの子何して
るの？」とお母さんに言います。指さしはダメだと思うけど、言うのは別にい
かあ い ゆび おち い べつ
いと思っています。けれど、聞いたお母さんが「見たらダメ。」と時々言うこと
おち き かあ み とくとき い
があります。

わたし いちばん い きす み はな
私が一番言われて傷つくのは、「見たらダメ」や「話しかけてはダメ」とい
ことば ことば き ころ くる きも
う言葉です。その言葉を聞いたたびに、心がギュッと苦しい気持ちになります。

「障がい者」だからと言って、話をしなかったり、見ないようにしたりするのは違うと思います。その人のいない気遣いは私たち家族にとっては悪口を言われるのと同じ気持ちになります。

障がい者に対しての決めつけも多いような気がします。「障がい」といっても様々なものがあります。私の妹の場合、質問しても全然違う答えが返ってきたり、「そこに居てね」と言っても、すぐにどこかへ行ってしまったりします。一方的に話続けたり、説明している時も、気に食わないことがあったら急に落ち着きがなくなったりすることもあります。だからといって、陰でコソコソ何かを言ったり、障がい者だからでしょ、と言ったりするのはやめてほしいです。障がい者ではなく、一人の人として見てほしいです。

しかし私も、実を言うと、妹に対して一度も何か思ったことがないとは言えません。「妹が普通の子だったらな。」と考えたこともあります。

外でもかまわず大声を出している妹に対して、「どうして外で大きな声を出すの？」と怒りかけたこともあります。妹のテンションが高すぎてしまって、家族と出かけられなくなってしまうこともありました。妹と一緒に外食をしたことは、まだ数えるくらいしかありません。ですが、妹のことを嫌いになったことは一度もありません。どんなことがあっても、その倍、楽しいことがあるからです。

私が伝えたいことは、どのような人でも平等に接してほしいということです。障がい者という言葉だけで判断するのでなく、その人の内面を見てほしいです。きっといい所がたくさんあるはずですよ。これは障がい者だからでなく、他の人も同じことだと思っています。その人の見える部分だけを見るのではなく、内側もちゃんと見ていきましょう。そうしていくことで、人との関わり方もよくなり、いじめや差別などの身の回りの問題も解決していくのではないかと思います。誰に対しても平等に接して、社会を明るくしていきましょう。